

杉並を良くする会 NEWS

2024年
6・7月号

杉並の勇氣

特集号

これでいいのか 杉並区政

現区政に変わってやがて2年。
今、杉並区政には多くの問題が山積しています。
現在起きている問題点を見てみましょう。

① 区民の安全・安心が置き去りに

1月の能登半島地震や4月の台湾地震を教訓に、今必要な防災対策は何か。
緊急に取り組む必要があります。しかし岸本区政は何ら新しい対策を示していません。

被災地への思いやりが見えてこない！

それどころか岸本区長は、能登半島地震に対しての区長のメッセージはいまだなく、
中野区や練馬区など他自治体に比べ被災地への思いやりが全く見えてきません。

危機管理意識ゼロ！

昨年6月2日、台風2号で国から「命をまもる行動を!」と呼びかけられ、杉並区の
台風通過のピークが深夜で河川氾濫が予測される中、区長は午後7時に公用車で帰宅。
これから夏の季節、豪雨や台風が予想されますが、喫緊の課題である善福寺川上流域の
治水対策の推進についても「対話と参加」を口実に消極的です。



② 深刻な福祉の後退

前区政で特養1,000床増設したにもかかわらず、人材不足で運営に支障が出ています。また
介護保険の認定通知が法令で申請から原則30日以内とされているにもかかわらず、本年
4月時点で83%が1か月以上遅延になっています。

子育て施策も無策のまま2年

またこの4月から長年続けてきた民間病院での小児救急医療が撤退を余儀なくされました。コロナ
禍の影響で多くの民間病院が減収減益に陥っています。こういう時こそ自治体が区民の安全安心の
ために支援に乗り出すべきところですが、現区政は全く無策です。出産から保育・学童・教育の切
れ目のない子育てプランがないままにやがて2年。少子化対策は、喫緊の課題ですが、児童館廃止
反対のキャンペーン(事実を歪曲したデマ)に終始し、何ら新しい政策は打ち出されていません。



③ 杉並のまちづくりはストップ状態

前区政が進めてきたまちづくりを「プロセスが不透明」「住民合意がない」、
「タワーマンションを計画」などのデマをばらまき、地域の中に「新たな分断」を持ち込み、
この1年半、「まちづくりを振り返る会」などを開催して前区政の検証はしたものの、結局
この1月、岸本区長自ら阿佐谷北東部地区計画は、計画通りに実施すると記者会見する始末。
各地域のまちづくりの課題も何ら改善されず事実上ストップ状態になっています。



区民の評価は大きく低下・・・

情報伝達度は10ポイント以上低下

[令和5年(2023年)区民意向調査]

前区政に比べ、区の情報の伝達度、情報の透明性、公開度が
大きく後退、1年で10ポイントも低下したことはこれまでもありません。

	令和4年5月 (2022年)	令和5年5月 (2023年)
●情報が伝わっている	59.9%	→ 49.4%
●伝わらないことが多い	15.1%	→ 19.3%
●まったく伝わっていない	6.6%	→ 10.5%
●わからない	17.2%	→ 19.8%

やはりおかしい岸本区政

その実態と背景は



最近、テレビや新聞の杉並区に関する報道は、学校の事故や交通事故、火災などに関する報道が多いと思いませんか。その実態と背景を見てみましょう。

① 多発する学校の事故や不祥事

選挙対策の給食費無償化のみで子どもの安全は教育委員会任せ、この間重大な事故や不祥事がいくつも発生しています。

- ✓ 令和5年5月 区立荻窪小校庭のラインマーカーの釘による児童の事故
- ✓ 令和5年11月 学校給食で提供した食材からカビ毒が検出され自主回収
- ✓ 令和6年2月 区立杉並第九小で児童の水筒に塩素系液体混入事件
- ✓ 令和6年3月 区立桃井第四小で児童の水筒に異物混入事件
- ✓ 令和6年4月 区立宮前中で生徒の水筒に異物混入事件



区役所に緊張感がなくなっています。

② 「中立・公平」な行政の場が区長と支持勢力の政治活動の場になっています。

- コロナが終わったのに成人式では国歌は演奏のみ
- 区のHPや文書に区長の公約「さとこビジョンの達成度」、区長との対話集会を「さとことブレスト」と呼称。行政の場で政治家の個人名を冠することはふつうあり得ません！
- 区長記者会見に自らの支持勢力のフリーランスや政党の機関紙の記者が登場。一般紙の質問は激減。

③ 区長のパフォーマンスのもと、職員のやる気がそがれています。

- 自転車通勤のパフォーマンスの一方で、公用車で新宿に飲み会
- 「自然エネルギーで区役所の電力を賄う」の真相は、お金で買電。「これが環境対策？誰でもできる」との声。

④ 職員の原稿を棒読み

議会や地域の会合では、職員が作った原稿を棒読み状態が今も続いています。その一方、今年の各団体の新年会などでは、ビール片手に御酌まわり。

⑤ 杉並区政へのビジョンなき岸本区政

区長就任2年近くなっても杉並区をどのようにしていくのか、どんな街を築いていくのかという岸本区長のビジョンは何も語られていません。ビジョンなき人に区政のトップを任せていいのでしょうか？

区民の良識で明日の杉並区を築こう！

杉並区は、日本有数の住宅都市です。これまでの区政の時代に築いてきた区民サービスや区民福祉の継続が危ぶまれている今こそ、杉並区民の良識と英知を結集し、住宅都市杉並区の価値を高め、次世代に誇れる輝かしい明日の杉並区を共に築いていきましょう！



田中良 プロフィール

昭和35(1960)年杉並区生まれ
杉並ひまわり幼稚園、杉並区立桃井第五小学校
獨協中・高、明大政経学部卒。テレビ東京入社
杉並区議1期、東京都議5期、都議会議長を経て
杉並区長3期。令和4年187票差で区長選惜敗。

HP

Facebook

X



編集・発行

杉並を良くする会

〒167-0022

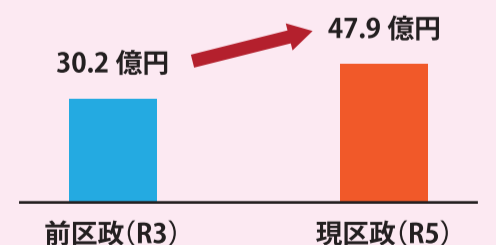
杉並区下井草5-10-23 田中良事務所内

[TEL] 03-3301-3301 [FAX] 03-3301-3360

[MAIL] tanakaryo@tanakaryo.com [HP] http://tanakaryo.com/

ふるさと納税区外流出額

何も対策とらずに急激に悪化



学童クラブ待機児童問題

今後も増加する見込み

